

## Ⅱ 浅海増養殖試験事業

### 3 魚病検査

小川 健・木村 創

#### 目 的

持込病魚等の検査・診断を行ない、海面魚類養殖における適切な魚病対策を指導する。

#### 方 法

調査依頼のあった病魚等について常法により細菌・寄生虫検査を行ない症状観察と併せて診断し、分離菌は必要に応じてディスク法による薬剤感受性試験を実施した。

#### 結 果

1992年度の検査件数は134件で、県外から依頼のあったマダイ2件、トラフグ4件を含んでいる。魚類別、月別病魚検査件数を表1に、これを基に、現場での観察や聞き取り情報等と併せて作成した県内魚病分布を図1に示した。

魚種別には、ブリでは田辺湾で飼育中の1年魚に黄疸症が発生し、終息までに約33%の被害を出している。

マダイでは、1991年大被害を蒙ったイリドウィルス感染症が田辺湾の0年魚にみられ、発病小割によっては10~50%の斃死率で、合計で30万尾余りが斃死している。しかし、前年にイリドウィルスに感染し生残した1年魚、つまり感染耐過魚では全く発病はみられなかった。また、マダイで被害の大きかったものに白点病があり、串本町の袋漁場で0, 1, 2年魚が全滅した。

このほか、田辺市で陸上水槽飼育のヒラメ0年魚に、ネオベネデニアによるハダムシ症が本県で始めてみられた。これについては、2分間の淡水浴で虫体は白濁して魚体から離脱し、養殖上特に大きな被害はなかった。

表1 1992年度 魚種別・月別病魚持込件数

魚 種	病 名	1992										1993			計	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月			
ブ リ	ビブリオ病		1	2												3
	類 結 節 症				1	4										5
	連鎖球菌症	1					1			1		1				4
	ノカルディア症									1						1
マ ダ イ	黄 だ ん 症				1											1
	餌料性失患									1						1
	小 計	1	1	3	5	1	0	2	1	0	1	0	0			15
	ビブリオ病	1	2	3	1	1		2	1		1					12
〃 ・滑走細菌感染症	2	1		2											5	
エドワジェラ症									1						1	
エラムシ病				1	6		3			1					11	
ヒ ラ メ	白 点 病							1	1							2
	リンホシスチス症				1											1
	イリドウィルス症					4	1									5
	イリドウィルス・エラムシ症									1						1
不 明	1	1		1		1		2				3	1		10	
小 計	4	4	4	5	11	3	6	5	0	2	3	1			48	
ト ラ フ グ	ビブリオ病		1		1					2						4
	滑走細菌感染症	6											1			7
	〃 ・ビブリオ病										1					1
	連鎖球菌症			2	2	2		2	1							9
シ マ ア ジ	〃 ・エドワジェラ症				1											1
	エドワジェラ症	1	1		1	1										4
	ハダムシ症						2									2
	〃 ・エドワジェラ症								1							1
オ ヌ オ コ セ	トリコディナ症										1					1
	穴あき症		1					1				1				3
	不 明								1				1			2
	小 計	7	3	3	4	3	2	3	2	3	2	1	2			35
ア イ ゴ	ビブリオ病		2	1		1		1								5
	〃 ・滑走細菌感染症	2			2		1									5
	イクチオボド症						1									1
	白 点 病		1		1		1									3
イ セ エ ビ	トリコディナ症								2							2
	シュードカリグス症				2											2
	ヘテロボツリウム症	1	2		1								2			6
	〃 ・チョウチン病							1								1
ク ル マ エ ビ	チョウチン病		1													1
	不 明				1											1
	小 計	3	6	2	6	1	4	3	0	0	0	0	2			27
	ビブリオ病				1											1
合 計	細菌感染症					1										1
	不 明												1			1
	エピテリオシスチス類症					1										1
ア イ ゴ	不 明				1											1
	連鎖球菌症			1												1
イ セ エ ビ	不 明								1	1						2
	エラグサレ								1							1
合 計																134

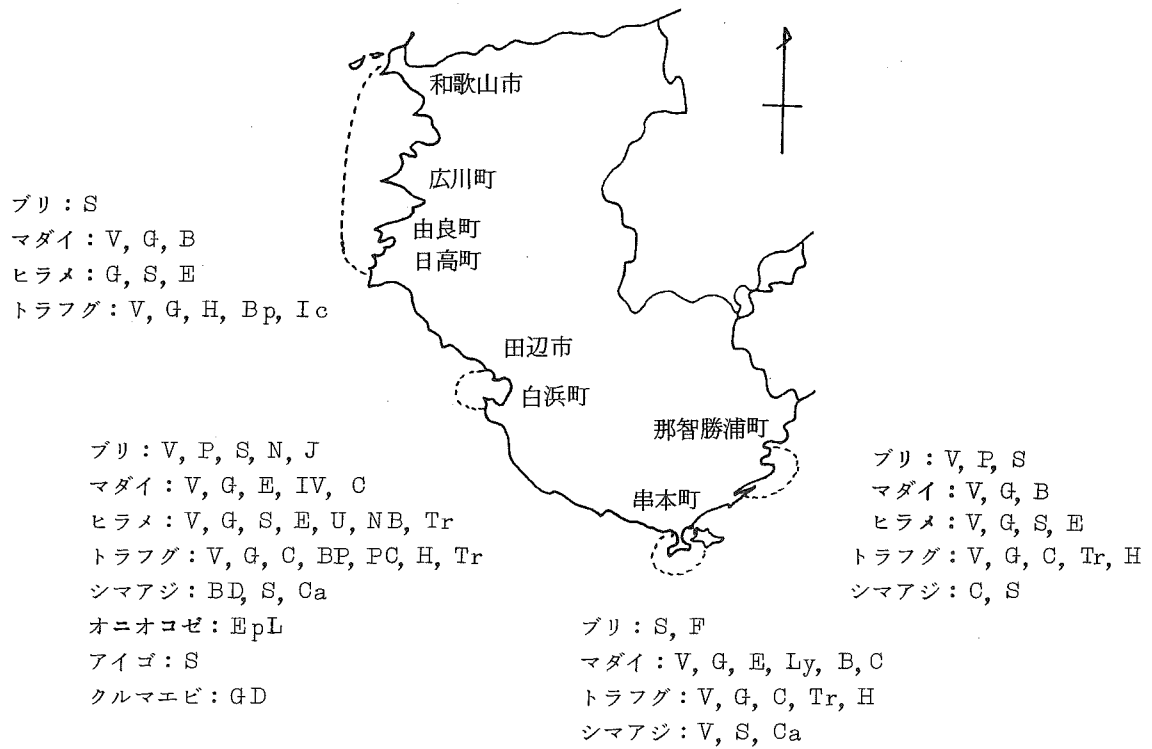


図1 県内魚病分布

V：ビブリオ病	P：類結節症	S：連鎖球菌症	N：ノカルディア症
E：エドワジェラ症	BD：細菌感染症	G：滑走細菌感染症	J：黄だん症
IV：イリドウィルス感染症	Ly：リンホシスチス病	Epl：エピテリオシスチス類症	H：ヘテロボツリウム症
Ic：イクチオボド症	C：白点病	PC：シュードカリグス症	NB：ネオベネデニア症
BP：チョウチン病	U：穴あき病	F：餌料性疾患	Ca：カリグス症